

事業名	申請者団体名	事業内容
宇陀松山 薬草 発酵 博覧会の開催	宇陀の薬草を全国に広める会	宇陀松山地区周辺で、推古天皇の薬草狩りや森野旧薬園で有名な「薬草」と、老舗の酒造、醤油、漬物の加工技術である「発酵」をテーマに5月に2日間のイベントを開催する。具体的には「薬草」、「発酵」の専門家を招致して講座、ワークショップの開催、地元インストラクターによる薬草観察会などを実施し、薬草や発酵を広く知り体験してもらう。同時にマルシェを開催し、「薬草」、「発酵」に関する商品販売や飲食、ライブなど、いろいろな楽しみ方ができるようにする。また松山地区の飲食店、土産物店などと連携し、街中を散策してもらえる仕組みをつくり滞在時間、観光消費の増加をねらう。
宇陀の観光資産の整理と活用事業	紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会	令和3年度から3年間、地域の団体と協働して新しい宇陀の魅力づくりに取り組む中で、それぞれの地域がもつ魅力とともに様々な課題を知ることができた。また、宇陀には歴史的な資産だけでなく、季節ごとに宇陀を彩る花々や豊かな自然に育まれた味わい、永年にわたって受け継がれてきた伝統行事など来訪者を飽きさせない観光資源にあふれている。それらを季節別に整理して、宇陀がもつ豊かな自然や歴史、文化などの情報を広く伝える新しい取り組みを始める。 ・宇陀市の観光情報紙の発行 ・講演会とウォーキングイベントの開催 ・平井大師山石仏群のガイド育成講座の開催
関係人口と地元住民が共創する地域活性化を目指して	NPO幸せのバトン	地域の活性化と関係人口（第二のふるさと人口）を増やすために、各種体験型イベントの企画、立案、運営を行う。 ①地域のネットワーク作り 小さく個性豊かなお店や個別で活動している団体がたくさんある。それらがネットワークでつながることで大きなパワーを生み出す。 ②体験型イベントとその情報発信 第二のふるさと人口を増やすためには、実際に来て、触れて、感じてもらうことが重要だと考え、イベントを実施。 ・子どもが遊べる「室生の森広場ヤッホー」の広場作り体験・田舎体験ツアー（杉の皮むき、焼いも作りなど） ・空家、古民家巡り・地域ネットワーク巡り ・子ども向けフログラミング体験・植樹体験・「田舎の風景」You Tube動画配信
城山城跡及び龍口城跡を中核にした地域活性化事業（ふるさと歴史「生き」「活き」プラン）	龍口地区活性化プロジェクトチーム	室生龍口には県及び市指定無形文化財があり、自分達が生活する地域の無形・有形の文化財を知り、歴史ある宇陀市で生まれ育ったことを誇りにしてもらう。 ①城山城跡、龍口城跡周辺の整備 ②遊歩道からの里の景観を眺めるため、遊歩道周辺の整備（雑木の伐採等） ③里から龍口不動滝（3滝）までの歩道の整備と急坂の階段・手すりの取り付け ④龍口不動滝、阿弥滝滝、俱呂滝周辺の景観確保のための伐採、河川の整備 ⑤「忍びの里をゆく」パンフレットを活かした児童の地域学習 両城跡（有形の文化財）及び龍口獅子舞（県及び宇陀市無形文化財）とのコラボ
森と音楽「エストニアと宇陀の夏至祭」	宇陀の森と音楽実行委員会	Estonia & Udaプロジェクトを推進することにより、市民のエストニアに対する関心が高まっていることを受けて、エストニアからのゲストを迎え、夏至祭を開催。最先端のIT国家であると同時に、森と共に生きるエストニアから音楽家や森のコーディネーターを招待する。冬が暗く長い北欧バルト各国では、1年の中で最も日照時間が長い夏至は、クリスマスと並ぶ一大行事で、本格的なエストニアスタイルの夏至祭は、日本の宇陀で初めて開催されることとなる。 ・6月21日（金）「夏至の日没セレモニー」 ・6月22日（土）「エストニアと宇陀の夏至祭」
榛原駅イルミネーション事業	イルミネーション実行委員会	宇陀商工会青年部を中心とし、近鉄榛原駅前広場においてLED電飾を用いて装飾することで、景観美化による地域活性化を目的として活動している。昨年度は当補助金を活用し、宇陀市公式マスコットキャラクターのウッピー・ハッピーをLEDで作成した。フォトスポットになったことに加え、イルミネーション設置期間終了後も設置依頼があり地元PRの一役を担っている。令和6年度は今までの装飾を見直しボリューム感をアップさせ、見ごたえのあるものとする。
辰砂水銀資料を次世代へつなぐ事業	「菟田の」辰砂水銀資料を遺す会	大和水銀鉱山が閉山（1971年）して半世紀が過ぎ、ほとんどの若者は鉱山があったことさえ知らない。また水俣病の惨禍もあり、水銀という言葉さえ忌避する社会風潮さえある。辰砂水銀資料を遺す活動を通じて、郷土の歴史を知るとともに「水銀」を正しく理解することに資する。 ①宇陀市内に残る水銀資史料の発掘・保存 古代史と辰砂・水銀（神武東征、薬狩り等） 水銀遺構の調査（廃鉱山等） 大和水銀鉱山（歴史・聞き取り・遺物収集等） ②水銀の功罪（不思議とSDGsの観点で）を啓発
宇陀松山親子寺小屋	UDAミニバスケットボールスクール	学校教育で一番欠けていると思われる大切な内容に焦点を当て、寺小屋として開催してきた。今回は簿記に焦点を当てる。日本の公教育では商業高校でしか簿記を教えない。ほとんどの方は簿記を知らない。簿記の間口が狭いため、高学年で簿記3級に触れることには大変意味がある。 ①小学生低学年と中学年への金銭教育 ②小学生高学年への簿記学習体験 ③保護者や事業者、中学生、一般への検定指導 ④県立商業高校との連携 ⑤全て動画視聴による個人学習（マイペースで、欠席OK、集団力動） 参加者の募集は広報の折り込みチラシやHPを利用する。
大師山石仏群の保全と活用事業	大師管理委員会	本会では約100体に及ぶ石仏1体ごとに建屋を設置し、永年にわたって巡拝路の整備や草刈り、樹木の伐採などに取り組んできた。近年、研究者による調査・分析が進みその歴史的な価値が高まっているが、地元では高齢化や後継者不足で今後の維持管理に大きな不安を抱いている。安全・快適に石仏群を見学できるように手すりの付け替え、季節ごとのライトアップだけでなく草刈りや会式といった大師山の行事にも市民の参画を求めてより親しみのある観光名所づくりに取り組む。
向渕の歴史を継承する	向渕の歴史を継承する会	年々忘れ去られていく向渕地区を通る古代伊勢街道を中核として歴史・伝承を後世に伝える事、散策コースを整備し向渕地区の活性化を目的とする。 ①向渕地区の歴史を古文書及び伝承から探求し歴史・伝承を記したパンフレットを作成し広報する ②向渕地区を通る古代伊勢街道に案内看板を設置し、散策コースとして整備する
宇陀三将 澤氏と澤城の講演・発掘担当者による講演 澤城跡・澤下城跡から出土品の展示	宇陀市の神話と歴史を考える会	本会は宇陀三将の芳野氏と芳野城・秋山氏と秋山城のイベントを行ってきた。今回は最後に残った澤氏についての歴史を探求したいと考えている。 ・菟田野人權交流センターにて講演 ・天理大学天野教授による「澤氏と澤城」講演 ・元宇陀市文化財担当者による澤城跡・澤下城跡の発掘説明 ・発掘品の展示 ・澤氏と澤城の冊子の制作
東大和高原の自然と暮らし体験	東大和高原探検倶楽部	奈良県東部の大和高原に位置する宇陀市は、飛鳥時代からの歴史と大自然が広がり、里山には多くの地域資源がある。薬草文化の発祥、UDA GIBIER FACTORY開設、龍神伝説、オーガニックビレッジ他、このような地域資源を活用した体験型の観光や加工食品を開発して、地域産業の活性化につなげたい。 ・ジビエ（特に鹿）を利用した体験型の観光商品開発 ・地域に生育しているスッポンやタウナギ、ザリガニを活用した新しい特産品の開発 ・ホームページ、インスタグラムなどの開設と商品販売 ・市内の体験型観光事業者、宿泊事業者を繋ぎ国内、海外からの誘客につなげていく